

うるま市建設コンサルタント業務成績評定要領

平成30年12月28日

第1 目的

この要領は、うるま市発注の委託業務の成績評定（以下「評定」という。）を行うために必要な事項を定め、厳正かつ的確な評定の実施を図り、もって建設コンサルタント等並びに技術者の適正な選定及び指導育成と委託業務の品質確保を図ることを目的とする。

第2 評定の対象

評定は、次に掲げる委託業務であって、原則として1件の業務委託料が50万円を越える委託業務について行うものとする。ただし、災害に伴う緊急業務に関するもの又は契約担当者においてこの要領による評定の必要がないと判断したものは対象外とする。

- (1) うるま市土木設計業務等委託契約約款により契約した委託業務
- (2) うるま市建築設計業務等委託契約約款により契約した委託業務
- (3) うるま市工事監理業務委託契約約款により契約した委託業務

第3 評定者

評定は、当該業務の主管課（以下「事業主管課」という。）において行うものとし、評定を行う者（以下「評定者」という。）は次に掲げる者とする。

- (1) 調査職員（うるま市設計委託業務等監督規程第2条に定める調査職員をいう。以下同じ。）
- (2) 検査員（うるま市設計委託業務等検査規程第2条に定める検査員をいう。以下同じ。）

第4 評定の方法

評定は、評定者ごとに独立して的確かつ公正に行うものとする。ただし、一つの委託業務の調査職員又は検査員がそれぞれ複数いる場合においては、お互いに協議して評定を行うものとする。

- 2 検査の結果修補等が必要となった委託業務については、修補等を行う前の状態を対象として、前項の評定を行うものとする。
- 3 評定の結果は、委託業務成績評定表（別記様式第1。以下「評定表」という。）に記録するものとする。
- 4 評定の基準は、別に定める「うるま市建設コンサルタント業務成績評定考査基準」に基づいて行うものとする。

第5 評定の時期

評定は、調査職員にあつては当該委託業務が完了したとき、検査員にあつては当該検査を行ったとき、それぞれ行うものとする。

第6 評定結果の通知

事業主管課は、評定を行ったときは、遅滞なく当該委託業務の受注者に対して評定の結果を業務成績評定通知書（別記様式第2）により通知し、評定表の写しを速やかに検査課へ提出するものとする。

第7 評定の修正

事業主管課は、前条の通知をした後、当該評定を修正する必要があると認められる場合は、修正しなければならない。

- 2 事業主管課は、前項の修正を行ったときは、遅滞なく、当該委託業務の受注者に対して、評定の結果を業務成績評定再通知書（別記様式第3）により通知するものとする。

第8 説明請求

第6及び第7による評定点の通知を受けた者は、通知を受けた日から起算して14日（うるま市の休日定める条例（平成17年4月1日条例第2号）第1条に規定する市の休日を含まない。）以内に、建設コンサルタント業務成績評定にかかる説明請求について（別記様式第4）を提出して、事業主管課長へ評定点の内容についての説明を求めることができる。

第9 説明請求に対する回答

事業主管課長は、評定点の通知を受けた受注者から評定点について説明を求められた場合は、建設コンサルタント業務成績評定にかかる説明書（回答）（別記様式第5）により速やかに回答するものとする。

第10 細則

この要領に定めるもののほか、必要な事項は、市長が定める。

附 則

- 1 この要領は平成31年1月1日から施行する。
- 2 この要領は施行日以降に契約を締結する委託業務について適用する。

委託業務成績評定表

平成 年 月 日

発注機関:

委託業務の名称									
業務委託料		当初:	¥	最終:	¥				
履行期間		当初:	平成 年 月 日	～	平成 年 月 日				
		最終:	平成 年 月 日	～	平成 年 月 日				
完了年月日		平成 年 月 日							
完了検査年月日		平成 年 月 日							
受注者の所在地・名称									
管理技術者氏名									
照査技術者氏名									
担当技術者氏名									
主任調査職員 所属・氏名									
調査員 所属・氏名									
検査員 所属・氏名									
評価項目		調査員 評定点	主任 調査員 評定点	検査員 評定点	業務評定 (注1)	技術者評定			
						管理 技術者 (注2)	担当 技術者	照査 技術者	
専門技術力	提案力・改善力		—	—				—	
	業務執行技術力							—	
	施工時 への 配慮	概略設計 予備設計		—	—				—
		詳細設計		—	—				—
	コスト把握能力(注3)		—	—			—	—	
管理技術力	工程管理能力		—	—			—	—	
	品質管理能力		—	—			—	—	
	迅速性、弾力性、 調整能力		—	—			—	—	
コミュニケーション力	説明力、協調性、 プレゼンテーション力		—					—	
取組姿勢	責任感、積極性、 倫理観			—				—	
成果品の品質			—						
①小計(注4)									
②業務執行上に係る 過失に伴う減点			—	—					
③事故等による減点			—	—					
④瑕疵修補又は損害賠償 による減点			—	—					
⑤その他()			—	—					
総合評定点 =①+②+③+④+⑤			—	—					

注1:各評価項目の評定点は、小数点以下第二位を四捨五入して表示している。

注2:測量作業及び地質調査においては、現場代理人及び主任技術者が該当する。

注3:「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

注4:①小計は、小数点以下第一位を四捨五入し整数とする。

委託業務成績評定表

平成 年 月 日

発注機関:

委託業務の名称					
業務委託料	当初:	¥	最終:	¥	
履行期間	当初:	平成 年 月 日	～	平成 年 月 日	
	最終:	平成 年 月 日	～	平成 年 月 日	
完了年月日	平成 年 月 日				
完了検査年月日	平成 年 月 日				
受注者の所在地・名称					
管理技術者氏名(注1)					
担当技術者氏名(注1)					
主任調査職員 所属・氏名					
調査員 所属・氏名					
検査員 所属・氏名					
評価項目		調査員 評定点	主任 調査員 評定点	検査員 評定点	業務評定 管理技術者評定・ 担当技術者評定(注2)
専門技術力	目的と内容の理解		—	—	/
	的確な履行		—	—	/
	業務目的の達成度		—	—	/
管理技術力	業務実施体制の的確性		—	—	/
	打ち合わせの理解度		—	—	/
	指揮系統の迅速性、 確実性		—	—	/
取組姿勢	責任感、積極性		—	—	/
①小計(注3)			—	—	/
②業務執行に係る過失に伴う減点		—		—	
③事故等による減点		—	—	—	
④瑕疵修補又は損害賠償による減点		—	—	—	
⑤その他()		—	—	—	
総合評定点=①+②+③+④+⑤		—	—	—	

注1:管理技術者及び担当技術者が複数名配置されている場合は、全て記載する。

注2:各評価項目の「業務評定」「管理技術者評定」「担当技術者評定」は、小数点以下第二位を四捨五入して表示している。

注3:①小計は、小数点以下第一位を四捨五入して整数とする。

別記様式第1(建築設計業務)

委託業務成績評定表		
平成 年 月 日		
発注機関：		
委託業務の名称		
業務委託料	当初：平成 年 月 日	最終：平成 年 月 日
履行期間	当初：平成 年 月 日	～平成 年 月 日
	最終：平成 年 月 日	～平成 年 月 日
完了年月日	平成 年 月 日	
完了検査年月日	平成 年 月 日	
受注者の所在地・名称	所在地：	
	商号又は名称：	
	代表者氏名：	
管理技術者氏名		
担当技術者氏名	建築：	建築構造：
	電気設備：	機械設備：
主任調査職員 所属・氏名	所属：	氏名：
調査員 所属・氏名	所属：	氏名：
	所属：	氏名：
	所属：	氏名：
検査員 所属・氏名	所属：	氏名：
業務評定点		
業務評定点(総合点)①-③ [①-③-④] () []		
(再通知を行った日付：平成 年 月 日)		
業務評定点(総合点)の内訳		
①業務評定点(総合点:減点無し) () []		
②基礎点 () []		
③業務履行中に生じた事由による減点 () []		
④業務完了後に生じた事由による減点 []		
管理技術者評定点		
管理技術者評定点 () []		
業務評定点(総合点:減点無し)の分野別内訳		
建築意匠 () []	電気設備 () []	
建築構造 () []	電気設備積算 () []	
建築積算 () []	機械設備 () []	
	機械設備積算 () []	

注1: 複数の検査員による検査が行われる場合、検査員全員の所属及び氏名を明記すること。その際、総括検査員(検査の結果を総括する者)が定められた場合には、総括検査員とそれ以外の検査員の別についても明示すること。

注2: []内は修正後

別記様式第1(建築工事監理業務)

委託業務成績評定表	
平成 年 月 日	
発注機関：	
委託業務の名称	
業務委託料	当初： 最終：
履行期間	当初：平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日
	最終：平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日
完了年月日	平成 年 月 日
完了検査年月日	平成 年 月 日
受注者の所在地・名称	所在地：
	商号又は名称：
	代表者氏名：
管理技術者氏名	
担当技術者氏名	建築： 建築構造：
	電気設備： 機械設備：
主任調査職員 所属・氏名	所属： 氏名：
調査員 所属・氏名	所属： 氏名：
	所属： 氏名：
	所属： 氏名：
検査員 所属・氏名	所属： 氏名：
業務評定点	
業務評定点(総合点) ①-② [①-②-③] () []	
(再通知を行った日付 :平成 年 月 日	
業務評定点(総合点)の内訳	
①業務評定点(総合点:減点無し)	() []
②事故等による減点	() []
③債務の不履行又は損害賠償の請求による減点	() []

注1: 複数の検査員による検査が行われる場合、検査員全員の所属及び氏名を明記すること。その際、総括検査員(検査の結果を総括する者)が定められた場合には、総括検査員とそれ以外の検査員の別についても明示すること。

注2: []内は修正後

所在地

商号又は名称

代表者氏名 様

うるま市長

印

業務成績評定通知書

平成 年 月 日付けで契約した下記の業務について、うるま市建設コンサルタント業務成績評定要領（以下「要領」という。）に基づき評定した結果を通知します。

なお、評定の結果に疑問があるときは、要領第8に基づき、通知を受けた日から起算して14日以内に書面により説明を求めることができます。

疑問の旨に対する説明は、要領第9に基づき書面により行います。

記

1 委託業務の名称:

2 履行期間: 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

3 完了検査年月日: 平成 年 月 日

4 評定点 (1) 業務評定点 点
(詳細は別表のとおり)

(2) 技術者評定点 (詳細は別表のとおり)

管理技術者 氏名: (TECRIS技術者ID)

(注1) 評定点 点

担当技術者 氏名: (TECRIS技術者ID)

評定点 点

照査技術者 氏名: (TECRIS技術者ID)

(注2) 評定点 点

注1: 調査業務は主任技術者が該当する。

注2: 照査技術者を配置しない場合は、空欄とする。

(別表)(土木設計等業務)

項目別評定点

委託業務の名称 :

受注者の名称 :

評価項目	評価の視点		業務評定 (評定点/満点)	技術者評定		
				管理技術者 (評定点/満点) (注1・2)	担当技術者 (評定点/満点) (注1)	照査技術者 (評定点/満点) (注1)
専門 技術力	提案力、改善力		点/ 点	点/ 点	点/ 点	—
	業務執行技術力		点/ 点	点/ 点	点/ 点	—
	施工時への 配慮 (注3)	概略設計 予備設計	点/ 点	点/ 点	点/ 点	—
		詳細設計	点/ 点	点/ 点	点/ 点	—
	コスト把握能力(注3)		点/ 点	点/ 点	点/ 点	—
管理 技術力	工程管理能力		点/ 点	点/ 点	—	—
	品質管理能力		点/ 点	点/ 点	—	点/ 点
	迅速性、弾力性、 調整能力		点/ 点	点/ 点	—	—
コミュニケー ション力	説明力、協調性、 プレゼンテーション力		点/ 点	点/ 点	点/ 点	—
取組姿勢	責任感、積極性、 倫理観		点/ 点	点/ 点	点/ 点	—
成果品の品質			点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
評価点の小計 (注4)						
業務執行に係る過失に伴う減点						
事故等による減点						
瑕疵補修又は損害賠償による減点						
その他 ()						
総合評定点			0点/ 100点	0点/ 100点	0点/ 100点	0点/ 100点

注1:各項目の評定点及び満点は小数点以下第二位を四捨五入して表示している。

注2:測量作業及び地質調査においては、現場代理人及び主任技術者が該当する。

注3:「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務

注4:評定点の小計は小数点以下第一位を四捨五入し、整数としている。

(別表)(現場技術業務)

項目別評定点

委託業務の名称 :

受注者の名称 :

評価項目	評価の視点	業務評定・技術者評定	
		業務評定・管理技術者・担当技術者	
専門 技術力	目的と内容の理解	点 /	点
	的確な履行	点 /	点
	業務目的の達成度	点 /	点
管理 技術力	業務実施体制の的確性	点 /	点
	打ち合わせの理解度	点 /	点
	指揮系統の迅速性、 確実性	点 /	点
取組姿勢	責任感、積極性	点 /	点
評価点の小計 (注)		点 /	100点
業務執行に係る過失に伴う減点			点
事故等による減点			点
瑕疵補修又は損害賠償による減点			点
その他()			点
総合評定点		点 /	100点

注) : 評定点の小計は小数点以下第一位を四捨五入し、整数としている。

所在地

商号又は名称

代表者氏名 様

うるま市長 印

業務成績評定通知書

平成 年 月 日付けで契約した下記の業務について、うるま市建設コンサルタント業務成績評定要領（以下「要領」という。）に基づき評定した結果を通知します。

なお、評定の結果に疑問があるときは、要領第8に基づき、通知を受けた日から起算して14日以内に書面により説明を求めることができます。

疑問の旨に対する説明は、要領第9に基づき書面により行います。

記

1 委託業務の名称:

2 履行期間：平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日

3 完了検査年月日：平成 年 月 日

4 評定点 (1) 業務評定点 (詳細は別表のとおり)

総合点 点

(基礎項目及び創意工夫項目の評価による)

基礎点 点

(基礎項目のみの評価による)

(2) 技術者評定点 (詳細は別紙のとおり)

管理技術者 氏名 (PUBDIS技術者ID:)

評定点 点

(別表) (建築設計業務)

項目別評定点

委託業務の名称 :	
受注者の名称 :	
業務評定点(総合点:減点無し)	点
業務履行中に生じた事由による減点	点
業務完了後に生じた事由による減点	点

業務評定点(総合点:減点無し)の加減点数の評価項目別内訳

評価項目		評価の視点	項目の分類	指標	得点/配点
業務の実施能力	業務実施体制	業務体制、自主管理	基礎		/ 1.00
	管理技術者の能力	業務の全体把握、工程管理、取組姿勢、責任感の強さ、説明力(プレゼンテーション力)、協調性	基礎		/ 2.00
	担当技術者の能力	他分野との調整、工程管理、取組姿勢、責任感の強さ、説明力(プレゼンテーション力)、協調性	基礎		/ 2.00
業務の実施状況	業務履行中の説明資料(途中成果物)に関する評価	記載の程度 途中成果物の内容	基礎		/ 4.00
	調整及び説明、対応への迅速性	基礎: 打合せ内容の理解、記録、指示、協議事項への対応	基礎		/ 2.00
		創意工夫: 設計提案等の説明(プレゼンテーション力)	創意工夫		/ 1.00
	与条件の理解、業務への反映(設計提案)	基礎: 与条件の理解、円滑な業務遂行、技術的検討、仕様書・基準類の理解、施工に関する一般的な知識	基礎		/ 4.00
創意工夫: 創意工夫、積極的な提案、専門的な知識、法定等の理解、特定行政庁等との調整		創意工夫		/ 3.00	
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度、成果物の内容	基礎		/ 20.00
	課題への対応	課題(物理的条件、社会的条件、要望、コスト)への対応	創意工夫		/ 8.00
(表の見方) 1) 評定点は65点を標準として加減点最大±35点で算出している。 2) 加減点数の項目別の配点は、業務内容によって異なる。 3) 本業務の受注者が得点した点数を項目別に指標化している。 4) 指標は0を標準(加減点無し)とし、-100から+100までの整数で表示している。 5) 「創意工夫の余地の小さい業務」については、創意工夫項目の評価は行わない。			小計(基礎項目)		/ 35.00
			小計(創意工夫項目)		/ 12.00
			↓		
			合計		/ 47.00

所在地

商号又は名称

代表者氏名 様

うるま市長 島袋 俊夫 印

業務成績評定通知書

平成 年 月 日付けで契約した下記の業務について、うるま市建設コンサルタント業務成績評定要領（以下「要領」という。）に基づき評定した結果を通知します。

なお、評定の結果に疑問があるときは、要領第8に基づき、通知を受けた日から起算して14日以内に書面により説明を求めることができます。

疑問の旨に対する説明は、要領第9に基づき書面により行います。

記

- 1 委託業務の名称:
- 2 履行期間：平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日
- 3 完了検査年月日：平成 年 月 日
- 4 評定点 (1) 業務評定点 点
(詳細は別表のとおり)

(別表) (建築工事監理業務)

項目別評定点

委託業務の名称	
受注者の名称	
業務評定点(減点無し)	点
事故等による減点	点
債務の不履行又は損害賠償の請求による減点	点

業務評定点(減点無し)の加減点数の評価項目別内訳

評価項目		評価の視点	指標	得点/配点
専門技術力	業務施行技術力	・目的と内容の理解 ・必要情報の把握 ・検討・確認項目、検討・確認内容 ・打合せ資料の内容 ・十分な技術力		/ 11.36
管理技術力	迅速性 工程管理能力 調整能力	・実施手順、工程計画、実施体制 ・打合せ内容の理解、記録 ・内部関係者(受注者内)への情報伝達 ・工程管理		/ 7.30
	品質管理能力	・ミス防止の実施		/ 0.51
	弾力性	・当初工程計画の変更		/ 1.28
コミュニケーション力	説明力 表現力 協調性	・理解しやすい説明・表現 ・円滑な業務遂行への努力		/ 1.79
取組姿勢 社会性	責任感 積極性	・責任感の強さ ・積極性		/ 2.88
施工計画の確認検討 施工図等の検討 工事の確認		・目的の達成度 ・業務報告等の的確な取りまとめ ・ミスの有無		/ 9.88
			合計	/ 35.00

(表の見方)

- 1) 評定点は65点を標準として加減点最大±35点で算出している。
- 2) 加減点数の項目別の配点は、業務内容によって異なる。
- 3) 本業務の受注者が得点した点数を項目別に指標化している。
- 4) 指標は0を標準(加減点無し)とし、-100から+100までの整数で表示している。
- 5) (評定点)と(65点+項目別の得点の合計)は四捨五入の関係等で一致しない場合がある。

所在地

商号又は名称

代表者氏名 様

うるま市長

印

業務成績評定再通知書

平成 年 月 日付けで契約した下記の業務について、うるま市建設コンサルタント業務成績評定要領に基づき評定した結果を再通知します。

記

1 委託業務の名称:

2 履行期間: 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

3 完了検査年月日: 平成 年 月 日

4 評定点 (1) 業務評定点 点
(詳細は別表のとおり)

(2) 技術者評定点 (詳細は別表のとおり)

管理技術者 氏名: (TECRIS技術者ID)

(注1) 評定点 点

担当技術者 氏名: (TECRIS技術者ID)

評定点 点

照査技術者 氏名: (TECRIS技術者ID)

(注2) 評定点 点

注1: 調査業務は主任技術者が該当する。

注2: 照査技術者を配置しない場合は、空欄とする。

所在地
商号又は名称
代表者氏名 様

うるま市長 印

業務成績評定再通知書

平成 年 月 日付けで契約した下記の業務について、うるま市建設コンサルタント業務成績評定要領に基づき評定した結果を再通知します。

記

- 1 委託業務の名称:
- 2 履行期間：平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日
- 3 完了検査年月日：平成 年 月 日
- 4 評定点（1）業務評定点（詳細は別表のとおり）

総合点	点
(基礎項目及び創意工夫項目の評価による)	
基礎点	点
(基礎項目のみの評価による)	

- (2) 技術者評定点（詳細は別紙のとおり）

管理技術者	氏名	(PUBDIS技術者ID:)
	評定点	点

別記様式第3（建築工事監理業務）

第 号
平成 年 月 日

所在地

商号又は名称

代表者氏名 様

うるま市長 島袋 俊夫 印

業務成績評定再通知書

平成 年 月 日付けで契約した下記の業務について、うるま市建設コンサルタント業務成績評定要領に基づき評定した結果を再通知します。

記

- 1 委託業務の名称:
- 2 履行期間：平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日
- 3 完了検査年月日：平成 年 月 日
- 4 評定点 (1) 業務評定点 点
(詳細は別表のとおり)

別記様式第4

平成 年 月 日

うるま市長 様

所在地
商号又は名称
代表者氏名

印

建設コンサルタント業務成績評定にかかる説明請求について

平成 年 月 日付け、第 号で通知された業務の評定結果について、下記のとおり説明請求いたします。

記

- 1 委託業務の名称:
- 2 説明請求内容等

別記様式第5

第 号
平成 年 月 日

所在地
商号又は名称
代表者氏名

様

うるま市長

印

建設コンサルタント業務成績評定にかかる説明書(回答)

平成 年 月 日付けで説明を求められました評定内容について、下記のとおり回答
します。

記

- 1 委託業務の名称:
- 2 疑問に対する回答